



旭建設株式会社



環境省
エコアクション21
認証番号0010641

2024 年度 環境経営レポート

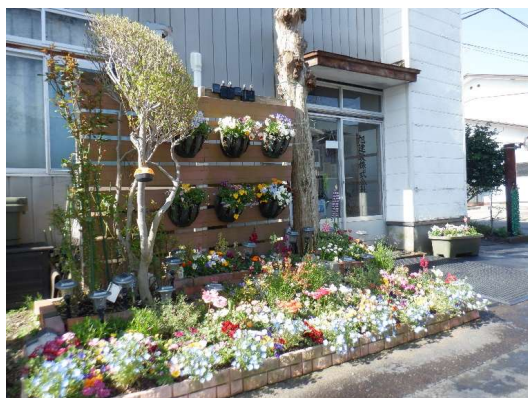
(対象期間 2024 年4月1日～ 2025 年3月31日)



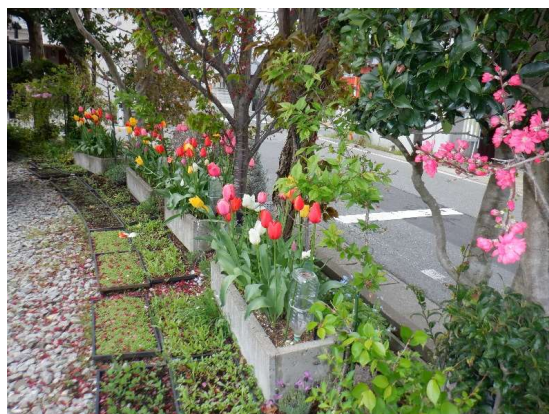
作成日： 2025年4月25日

も く じ

ごあいさつ	1
環境経営方針	1
組織の概要	2
事業や製品(商品)の紹介	2
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価, 次年度の環境経営計画	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟の有無	13
緊急事態対応試行・訓練	13
代表者による全体の評価と見直し・指示	14
これまでの環境活動の紹介	15



事務所前 花壇



秋田県の
「あきたクリーンパートナー」で
活動報告を掲載してます。



ボランティア清掃活動

□ごあいさつ

私、及び社員一同は、この地域で生まれ育った者として、また事業活動を通じて、少なからず環境負荷を与えている者としての自覚を持ち、後生の子供達が安全・安心な環境で暮らせる社会の実現に寄与いたします。

環境経営方針

<環境経営理念>

旭建設株式会社は、風光明媚な清水公園や秋田港を望む秋田市北部地域に位置し、地域の総合建設業として、土木・建築・舗装・造園・管・水道・電気・解体工事事業を通じて、安全・安心な街づくりを推進しております。

また、社員一同及びその家族は、地球規模の環境汚染問題に対し、社会資本の構築を担う者として、全ての事業活動を通じ地域社会の環境活動（環境NPO法人への協力・自主ボランティア活動）に参加し、持続可能な循環型社会システムの構築を目指し、環境と調和のとれた地域密着型企业として社会に貢献いたします。

次の行動指針について環境経営目標・環境経営計画を策定し、定期的に見直し、環境経営の継続的な改善に努めてまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1． 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。
- 2． 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- 3． 3R（廃棄量促成・再使用・再生利用）推進による廃棄物排出量の削減に努めます。
- 4． 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
- 5． グリーン製品の購入を推進します。
- 6． 環境に配慮した建設工事を推進します。
- 7． 環境に関する講習会及び研修会などへ積極的に参加し、情報収集に努めます。
- 8． 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。

制定日： 2014年11月1日

改定日： 2023年4月1日

代表取締役 渡辺 憲介

□組織の概要

更新日： 2024年5月24日

(1) 名称及び代表者名

旭建設株式会社
代表取締役 渡辺 憲介

(2) 所在地

本社 秋田県秋田市将軍野南四丁目8-25

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 工事部 板坂 明
担当者 総務部 三浦 江里
連絡先 TEL：018-845-1197
FAX：018-845-2580

(4) 事業内容

総合建設業

(5) 事業の規模

売上高 30,000 万円

	本社	合計
従業員	20 名	20 名
延べ床面積	126.36 m ²	126.36 m ²

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 旭建設株式会社
対象事業所： 本社
活動： 責任者

□事業や製品(商品)の紹介



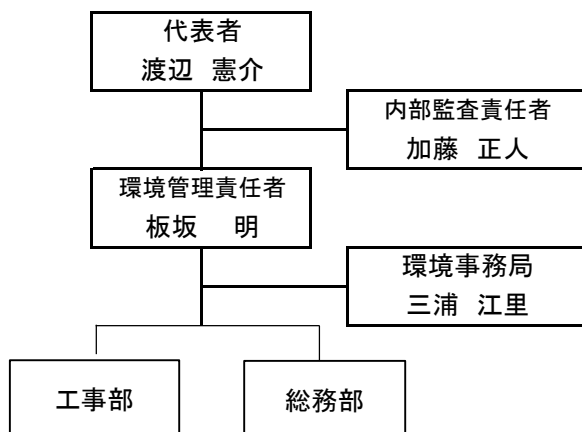
仁井田浄水場工事用仮設橋等整備工事



秋田市金足 農地集積加速化基盤整備工事 完成写真

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年5月24日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・課題とチャンスを確認にする ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査責任者	・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性の自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	45,265	47,375	48,575
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,130	1,400	1,260
産業廃棄物排出量	t	588	505	332
総排水量	m ³	106	96	108

※二酸化炭素排出係数 0.457 kg-CO₂/kWh 電力会社2020年の調整後の係数

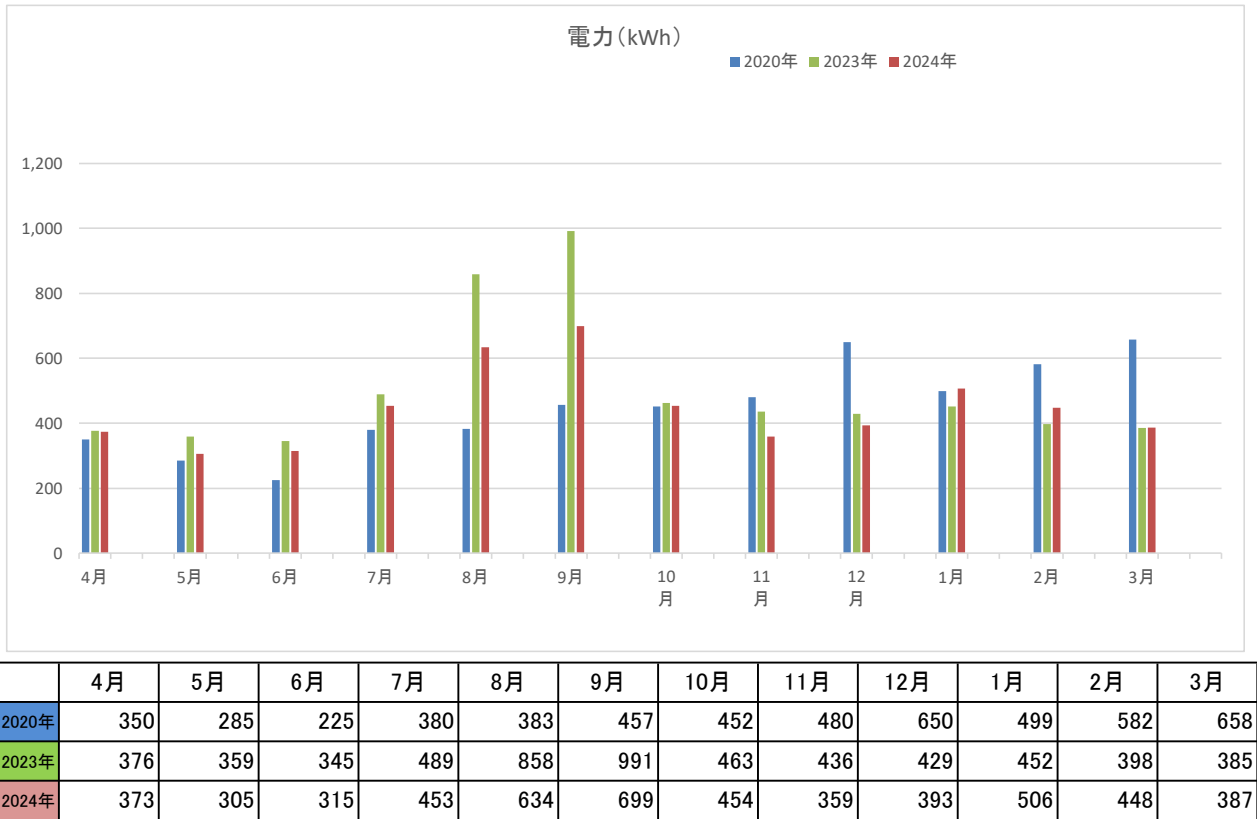
□環境経営目標及びその実績

項 目		年 度	基準値	2024年		評価	2025年	2026年
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		2,468	2,419	2,434	×	2,407	2,394
	基準年度比	2020年		98%	98.6%		97.5%	97%
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂		46	45	44	○	45	44
	基準年度比	2020年		98%	95.5%		97.5%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		9,243	9,058	8,481	○	9,012	8,966
	基準年度比	2020年		98%	91.8%		97.5%	97%
自動車・重機燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		38,971	38,192	37,519	○	37,997	37,802
	基準年度比	2020年		98%	96.3%		97.5%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO ₂	50,728	49,714	48,477	○	40,448	40,241
一般廃棄物の削減	kg		1,297	1,271	1,260	○	1,265	1,258
	基準年度比	2020年		98%	97.1%		97.5%	97%
産業廃棄物の削減	t		503	493	270	○	490	488
	基準年度比	2020年		98%	53.8%		97.5%	97%
水道水の削減	m ³		120	118	108	○	117	116
	基準年度比	2020年		98%	90.0%		97.5%	97%
グリーン購入の推進 (オフィス用品購入率)		—		55% 以上	92%	○	60% 以上	65% 以上
環境に配慮した施工	沈砂池	—		1回以上	達成	○	1回以上	1回以上
	清掃			1回以上	達成	○	1回以上	1回以上
	騒音対策			1回以上	達成	○	1回以上	1回以上
課題を解決しチャンス を活かす取組	社員教育	—		1回以上	達成	○	1回以上	1回以上
	情報収集			1回以上	達成	○	1回以上	1回以上
	PR活動			1回以上	達成	○	1回以上	1回以上

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画 電 力

数値目標:○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	現場では全員空調服を着用し暑さ対策を行った。仮設事務所が増えたことや事務所内ではクーラーを使用が増えたため未達成となった。今後の対策として、暑さ対策(クールビズ・扇風機の併用・水分摂取)をさらに徹底し、クーラーの使用を控える。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・不要照明の消灯	○	
・照明器具・冷暖房機器の定期清掃	○	



取組紹介欄

LED照明器具の清掃



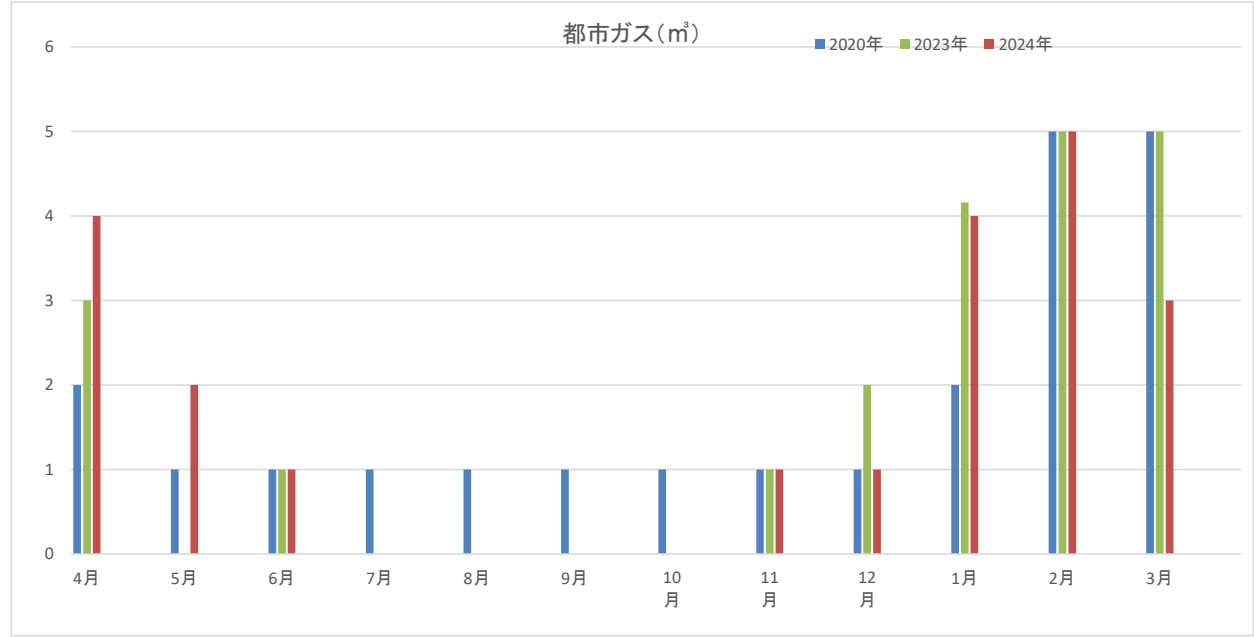
ソーラー付き保安灯の使用



ガス

数値目標:○達成 ×未達成

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	夏場はガス機器の湯温調節を切って、無意識に使用してしまいうことがないようにした。冬場のガス使用量を減らすために、ストーブの上のやかんのお湯の有効活用として洗い物や掃除に使用した。
・温水温度の適正化（低めの設定）	○	
・夏場の給湯器不使用	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	5	5
2023年	3	0	1	0	0	0	0	1	2	4	5	5
2024年	4	2	1	0	0	0	0	1	1	4	5	3

取組紹介欄

ストーブの上に乗せたやかんのお湯を洗い物などに活用



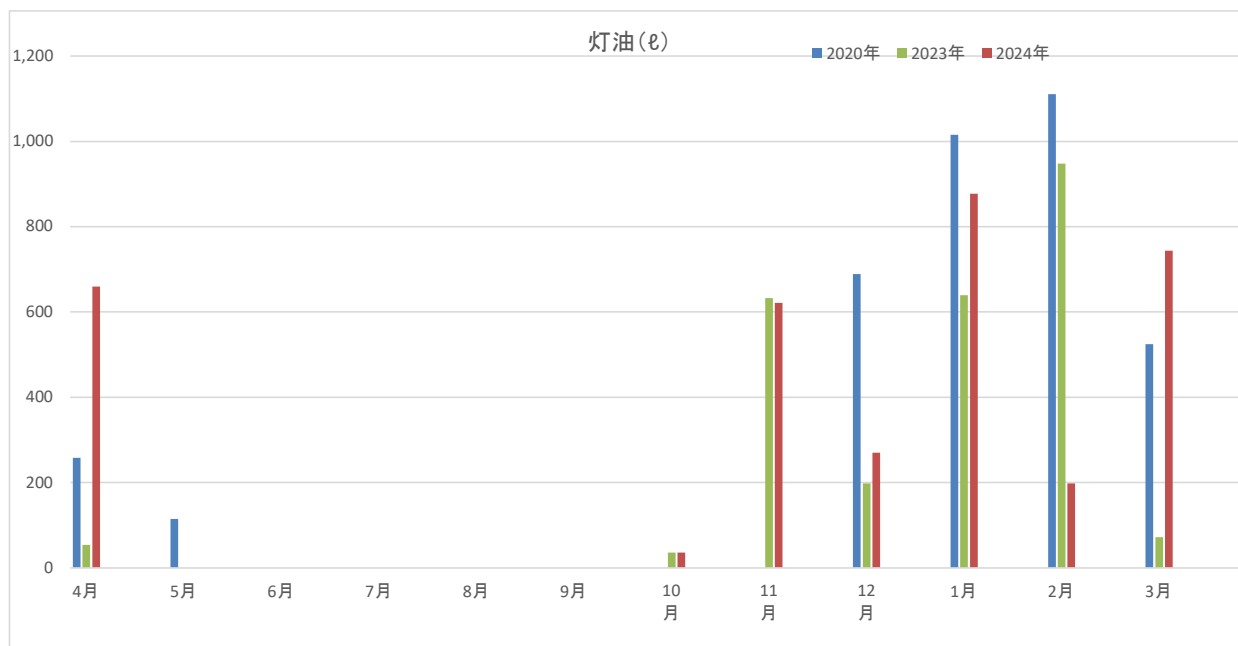
夏期はガスの使用を控えるため、給湯器は水にセット



灯 油

数値目標:○達成 ×未達成

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	現場では休憩時のみの使用にし、つけっぱなしを防止。事務所内ではサーキュレーターや加湿器の活用で適正な温度を心がけ削減できた。今後とも継続していきたい。
・無駄な暖房はしない。	○	
・温度の適正化（暖房 20℃）	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	258	115	0	0	0	0	0	0	689	1,015	1,111	524
2023年	54	0	0	0	0	0	36	632	198	639	948	72
2024年	660	0	0	0	0	0	36	621	270	877	198	744

取組紹介欄

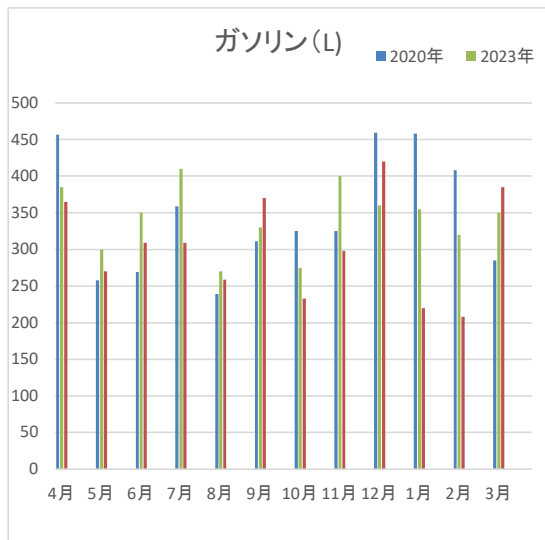
低い温度設定でも、サーキュレーターや加湿器で快適さも重視



ガソリン・軽油

数値目標:○達成 ×未達成

自動車・重機燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	ダンプは現場に置いておき、現場へは相乗りを実施。機械や車の運転手は運転前の車両確認や月1回のメンテナンスを行いエコドライブを心がけることができた。
・運行前点検でメンテナンスの心がけ	○	
・効率的なルート・最短経路の車の利用	○	
・効率のよい作業	○	
・できるだけ相乗りで行く	○	

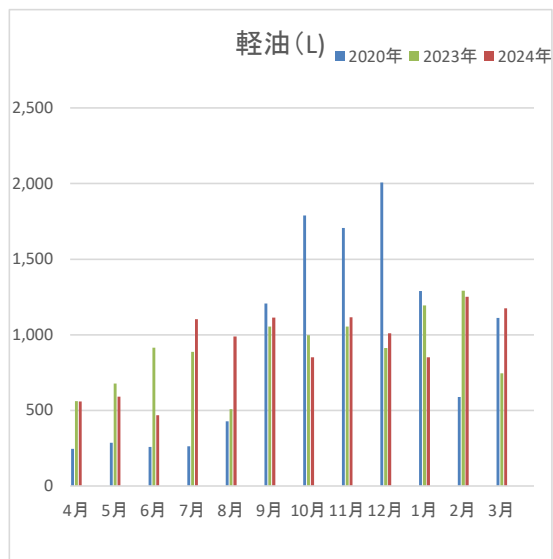


取組紹介欄

エコドライブ10のすすめ ポスターで啓発



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	457	258	269	359	239	311	325	325	459	458	408	285
2023年	385	300	350	410	270	330	275	400	360	355	320	350
2024年	365	270	309	309	259	370	233	298	420	220	208	385



取組紹介欄

始業前点検で、こまめなメンテナンス。

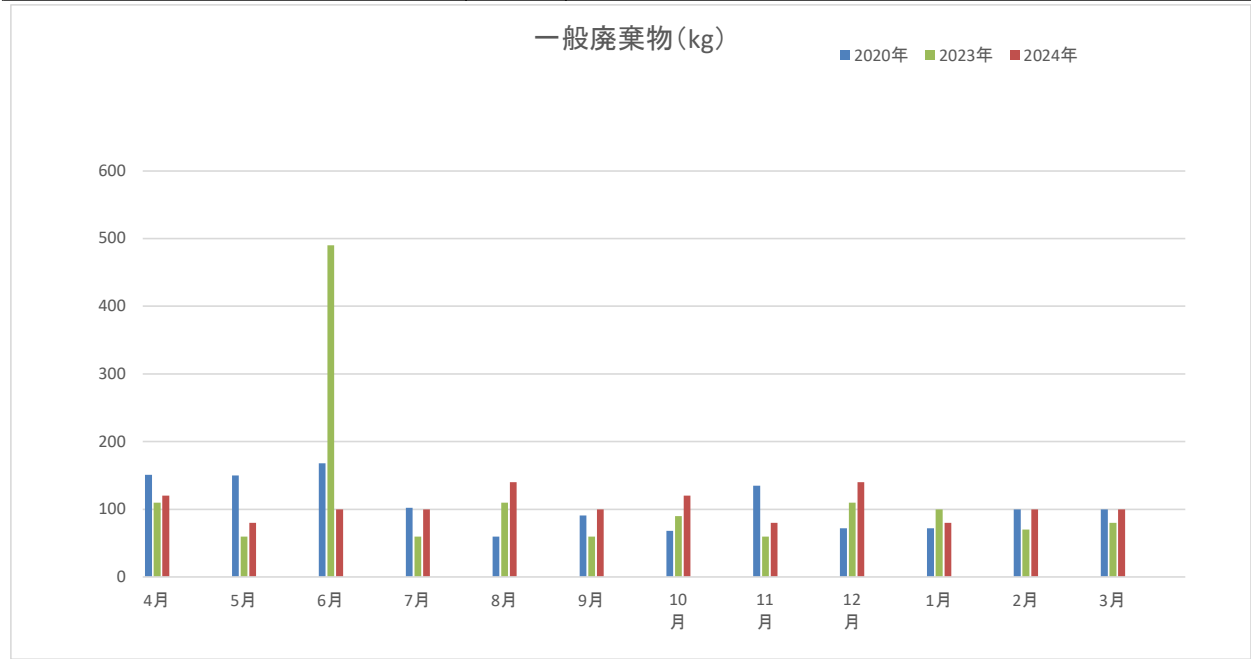


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	245	285	258	263	428	1,208	1,788	1,705	2,008	1,288	589	1,111
2023年	562	678	914	887	507	1,054	998	1,055	912	1,195	1,292	745
2024年	559	590	468	1,102	988	1,114	851	1,115	1,009	850	1,251	1,174

一般廃棄物

数値目標:○達成 ×未達成

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	資源ゴミと廃棄物の分別を徹底できた。無料のダンボール等を古紙センターへ持込みし、費用の削減ができた。
・分別の徹底	○	
・廃紙のリサイクル化	○	
・梱包材の再利用	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	151	150	168	102	60	91	68	135	72	72	100	100
2023年	110	60	490	60	110	60	90	60	110	100	70	80
2024年	120	80	100	100	140	100	120	80	140	80	100	100

取組紹介欄

分別の徹底



収集先分別作業



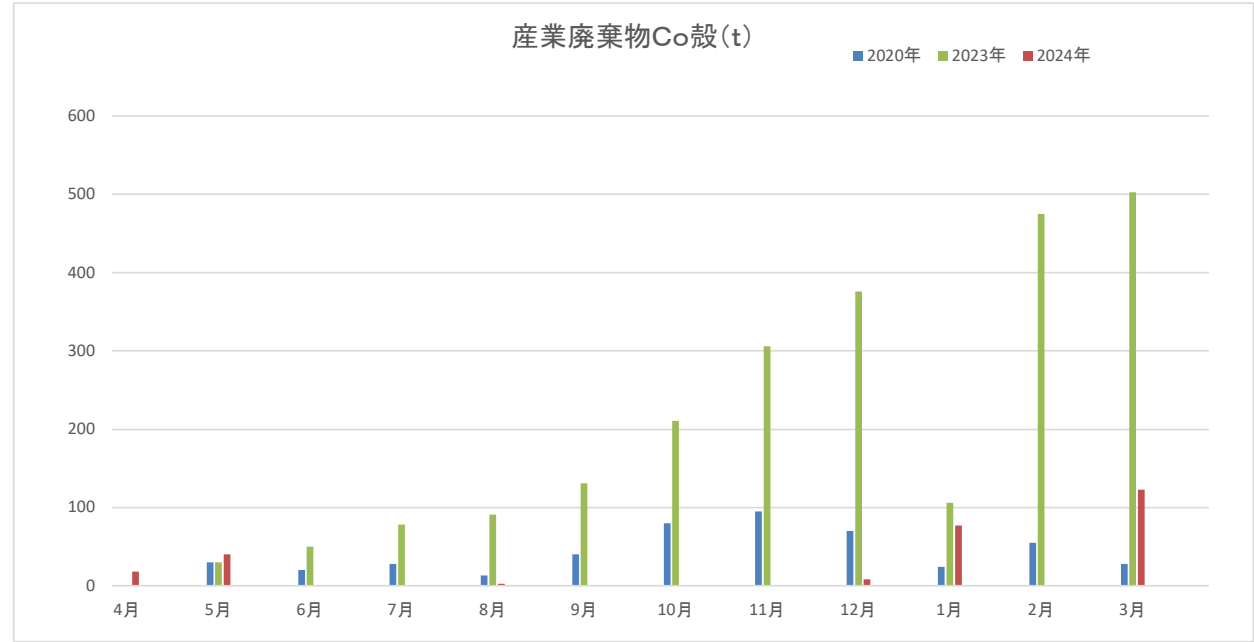
ダンボール処分先



産業廃棄物

数値目標:○達成 ×未達成

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	Co殻、As殻、木くずの排出については100%再生されていることを確認した。現場により再生できない廃棄物が出たが、適切な廃棄を確認した。今後も分別を丁寧にし廃棄物の削減する。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	0	30	20	28	13	40	80	95	70	24	55	28
2023年	0	30	50	78	91	131	211	306	376	106	475	503
2024年	18	40	1	0	3	0	0	0	8	77	0	123

取組紹介欄

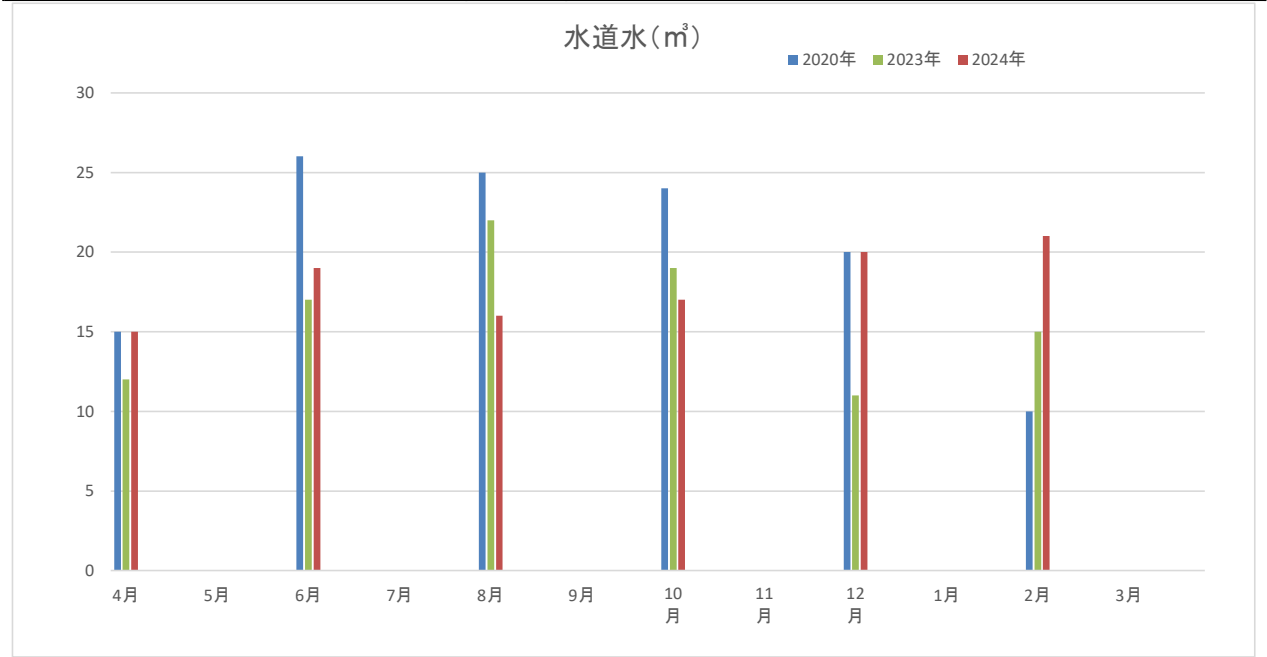
処分状況



水道水

数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	花壇へは、ペットボトルを利用した水やりをしたり、汲み置き の水を清掃に利用した。また、飲料ではマイ水筒を各自持 参。今後も更なる削減に向けて努力していきたい。
・節水シールの貼り付けとによる啓発	○	
・植木の水やりを最小限にする	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年	15	0	26	0	25	0	24	0	20	0	10	0
2023年	12	0	17	0	22	0	19	0	11	0	15	0
2024年	15	0	19	0	16	0	17	0	20	0	21	0

(2ヶ月ごと)

取組紹介欄

ペットボトルで花木への散水。雨水の有効利用。



グリーン購入の推進

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	事務用品以外のグリーン購入比率を上げれるよう努力していきたい。
・事務用品グリーン購入比率向上	○	

取組紹介欄

グリーン製品を積極的に購入しております。



環境に配慮した施工

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境に配慮した施工	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・泥水排水時は沈砂池を設置する。各現場1回以上	○	沈砂池の設置された現場では、泥水は排水されていない。進入路の清掃も月1回以上実施されており、今後も継続していきたい。住宅街の現場では低騒音の機械を使用し、遮音壁を設置して騒音対策をした。
・作業用の進入路は清掃を行なう。月1回以上	○	
・住宅地での工事は騒音対策を行う。1件以上		

取組紹介欄

沈砂池



騒音対策: 低騒音型機械の使用



遮音壁設置



課題を解決しチャンスを活かす取組

課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承 社員教育を月に1回以上行う	○	毎年受入れていたインターンシップは参加希望者がなくなかったが、社員の教育は積極的にできた。会社のPRとして、Aターンフェアへの参加を行い人材確保につとめたり、秋田市エイジフレンドリーパートナーとして表彰された。今後も継続していきたい。
・人材確保 月1回ハローワークへ行き、情報収集	○	
・人材確保 会社見学案内やPR活動年間で1回以上	○	

取組紹介欄

Aターンフェア参加 8/12、12/30



秋田市エイジフレンドリーパートナー表彰されました



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。

適用される法規	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁法	煮湯設備、洗浄設備
浄化槽法	浄化槽
下水道法	除害施設
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
顧客要求事項	品質管理

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

無し

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生・油の流出	
■実施日： 2024年11月20日	■実施場所 金足現場
■参加者： 板坂 他11名	
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☐ 避難訓練	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
発電機から出火した想定で消火器の使い方などを説明しました。手順書と役割分担の確認をし、緊急事態に備えることができた。引き続き行っていきたい。	
■実施状況の様子	
	

2024年は、日本全体で例年よりも気温が高く、特に夏と秋に記録的な高温が続きました。日本の年平均気温は、統計開始以来最も高いレベルに達し、2024年の日本の年平均気温偏差は、1898年以降で最も高い+1.64℃となり、2023年の+1.29℃を大きく上回りました。

夏の日本の平均気温は、2023年夏に並ぶ観測史上1位の高温となりました。特に、7月は1898年以降の月としては最も高い気温を記録したほか、秋も例年よりも気温が高く、平均気温は1898年以降で最も高くなりました。猛暑に加えて、大雨による土砂災害や、元日の地震など、様々な気象現象が起こりました。

また世界平均気温が、パリ協定で目標とされている1.5度以内を超えるものであり、地球温暖化による影響がより深刻化しており、異常気象の経済への影響として、農業被害として、異常気象による熱波や干ばつ、洪水などが農作物を被害に及ぼし、収量減少や品質低下を引き起こす可能性があります。

インフラへの損害として、海面上昇や豪雨などの異常気象は、インフラ施設に損害を与え、経済活動の停滞を招く可能性があります。

脱炭素化への負担として、温暖化対策として脱炭素化が求められる中で、企業はエネルギー消費の削減や再生可能エネルギーへの移行など、コストがかかる対応を迫られています。

また地球温暖化が進むと「極端な高温」や「大雨」だけでなく「食料問題」や「生態系」「水」などのさまざまな分野において、深刻なダメージを受けることになると考えられています。

食料に関しては、多くの途上国地域で収量が減り、サヘル地域と呼ばれる、アフリカのサハラ砂漠の南側に位置する地域では、地球温暖化によって砂漠化が進み、約80%の農地が退化していると言われていますが、逆に、高緯度にある先進国地域では「炭素による施肥効果」といって、大気中のCO2が増えることで、植物の光合成が活発になり、収量が増える現象が起きています。

水問題に関しては、地域によっては、世界的に小規模の山岳氷河が無くなり、地域によっては水不足になる可能性が出てくる一方、水の利用可能性が大きく変化し、2080年代には「水を獲得できる人がいる一方で10億人以上が水不足になり、地中海地域とアフリカ南部で、水の流量(河川や生活における水の量)が30%以上減る一方、平均気温上昇が4℃を超え始めると、海面上昇が世界の大都市、ロンドンや上海、ニューヨーク、香港、そして東京にも影響が出ると考えられています。

また生態系の影響として、珊瑚礁における環境問題については、「元に戻れない壊滅的なダメージ」を受けてしまう可能性が有る他、平均気温上昇が1.5℃を超えると「大多数の生態系が現在の状況を保てなくなり、その例として、アマゾン熱帯雨林の一部、またはすべての崩壊が始まる可能性がある他、平均気温上昇が2.3℃くらいを上回り始めると、多くの種が絶滅の危機に至り始めます。ある研究では、20%～50%の種が絶滅の危機にひんするという見解もあります。

以上のことを踏まえて、今年度の活動結果としての環境経営目標の未達成項目として、電力による二酸化炭素の削減が未達成という結果に終わりました。

近年の異常気象による気温の上昇からなる、真夏日、猛暑日・酷暑日は、多少の節電では、対処できないくらいの熱中症など生命に危険を及ぼすくらいの気温が続き、当然エアコンの使用頻度は増えました。外部の熱をいくらでも下げようと空調服などを導入しましたが、エアコンの設定温度を上げるまでには至りませんでした。

建設業は、環境目標の目標値の設定が外部の作業が多い為、気象環境などの影響を受けやすい産業で有るが、私たち事業者はこのような異常気象や環境変化に常にアンテナを張り、少しでも自社事業内に改善の余地がないか、考え続けてまいります。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり	2017年度版移行に伴い
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり	2017年度版移行に伴い
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり	組織変更に伴い

□これまでの環境活動の紹介

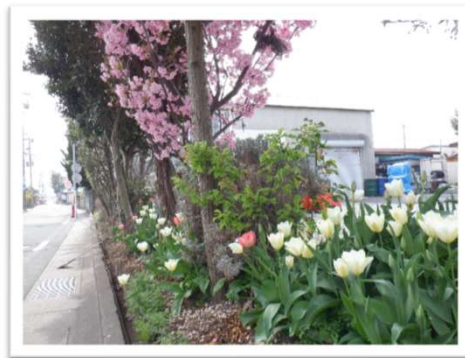
清掃ボランティアの実施

年4回の清掃活動では、護国神社周辺の清掃や、工事現場周辺のゴミ拾い、カーブミラーの清掃などを行っております。



植栽活動

会社周辺の住民にも楽しんでもらうために、道路沿いや社屋前に植栽をしています。



当社は環境活動と地域貢献として、秋田県のクリーンパートナー活動に参加を表明し、周辺地域の清掃活動や植栽活動を行っております。

あきたクリーンパートナーのホームページにも毎年活動報告を掲載をしています。あきた花いっぱい運動の会の活動にも協賛し、植栽活動を通して地域住民の目を楽しませることができ、コミュニケーションも増えてきていると実感しております。秋田市エイジフレンドリーパートナーという、高齢者に優しい都市の実現に向けた当社の取組みを令和6年度では表彰されました。

また、土崎の秋田港のお祭りでは会場整備や清掃活動へも積極的に参加し、活動を通じ地域住民への貢献と親しみをもつての交流が図れました。

□編集後記

今後とも環境活動や地域貢献のアイデアを出し合い、無理しない持続可能な活動ができるようにしていきたい。